

食事指導で活用している食具（例）

平スプーン

平らなので、口の力が弱くても握り込みやすいスプーンです。



シリコンスプーン

軟らかく、浅いスプーンなので口を閉じる力が弱くても握り込みやすいです。



カットアウトコップ

鼻がコップに当たらず、透明なので口の動きも確認できます。



くるくるグリップ

クルクル巻き付けるだけで握りやすくなります。



自助食器

スプーンで食べ物がすくいやすく、こぼしにくいお皿です。底面がシリコン加工されており、滑りません。



本校では「地域支援センターぐんぐん」において、食事支援に関するご相談、それ以外のご相談も随時受け付けています！

～食事についての相談を随時受け付けています～
○安全で発達を促すための調理方法の工夫
○安全で発達を促すための食事介助に関する相談・支援
○子ども一人一人に適した食器・食具・補助具の情報提供
○食べやすくするための補助食品・介護食などに関する情報提供



福島県立郡山支援学校

〒963-8041

福島県郡山市富田町字上ノ台番地

TEL:024-951-0247 FAX:024-961-5784

E-mail: koriyama-sh @fcs.ed.jp

<https://koriyama-sh.fcs.ed.jp>

郡山支援学校 食事支援ガイド



「食べる」という行為は、栄養摂取だけではなく、「味や香り、食感、見た目を楽しむ」、「食事を通して人とのやりとりを楽しむ」など、生活の質を高める様々な意味をもっています。





身体の動きに障がいのある子ども達は、口の動きに困難さがあることで誤嚥・窒息の危険性が高まったり、上手に食べることが難しかったりします。また、姿勢保持がしにくいことで食事に集中できない、過度に疲れてしまうなどの食べにくさを感じていることもあります。口の動きに適した食形態で食事を提供、そして子どもの立場に立って丁寧な食事介助をすること、必要に応じて補助具を使うことが、食事を楽しむだけでなく、発達を促すことにもつながります。

本ガイドでは、本校で提供している食形態と活用している食具についてご紹介します。

福島県立郡山支援学校
健康教育部学校給食係

ごはん

麺




普通食 	軟らかゆ 
おかゆ 	ペースト (ゴックン) 

普通食 	刻む (カミカミ) 
刻んで煮込む (モグモグ) 	ペースト (ゴックン) 

おかず

パン



※パンは3形態です。

普通食 	パンがゆ 
ペースト (ゴックン) 	

普通食 	軟菜 (カミカミ) 
煮込み (モグモグ) 	ペースト (ゴックン) 

くだもの

※果物は2形態です。

普通食 	ペースト (ゴックン) 
--	--



4つの 食形態
 お子さんの口の動きに適した形態で、給食を提供しています。安全で食べやすく、発達も促すことができます。